

平成 28 年 5 月 15 日

G7 倉敷教育大臣会合 倉敷宣言（骨子）

I. 教育の果たすべき新たな役割

教育の果たすべき新たな役割として、①「社会的包摂」、「共通価値の尊重」の促進、②新しい時代に求められる資質・能力の育成、③新たな役割を果たすための国際協働の更なる推進で一致。

(1) 「社会的包摂」、「共通価値の尊重」の促進

- 貧困、若者の失業、難民・移民、暴力的な過激化・急進化等、世界が抱える課題への対応として、教育の力を通じた「社会的包摂」、「共通価値の尊重」の促進に教育が大きな貢献を果たしていく必要性を表明。
- 誰ひとり排除せず、すべての人が最大限の可能性を發揮できるよう、社会を生き抜いていくために必要な力を培うとともに、社会形成や地方創生に積極的に貢献し、生きがいを感じる事ができる社会への変革を教育が支えていくことを認識。
- 特に、人間の尊厳を損なうあらゆる暴力、差別を阻止し、共生社会を実現するため、共通価値（生命の尊重、自由、寛容、民主主義、多元的共存、人権の尊重等）に基づいて、教育を通じたシチズンシップの育成を約束。教育によって文化間の対話、相互理解の促進、道徳心の醸成の必要性を強調。

(2) 新しい時代に求められる資質・能力の育成

- 新たな時代に求められる資質・能力として、自ら新たな問いを立ててその解決を目指し、他者と協働しながら新たな価値を生み出していくための力の育成を強調。
教育実践の基盤として、①何を知っているか、②知っていることをどう使うか、③どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか、という視点を持つことの重要性を強調。

(3) 教育の新たな役割を果たすための国際協働の推進

- 様々なレベルでの教育分野における国際協働を促進する重要性を強調。国際協働により、異なる考え方や価値観に対する寛容な精神など、多文化共生社会の構築に向けた極めて重要かつ幅広い能力を育むことができることを再確認。各国の教育実践を改善すべく、G7各国内の互いの学び合いを促進。

教育を受けることは人間の基本的な人権であり、世界の平和と繁栄、持続可能な社会の構築のために不可欠な要素であるという認識のもと、国際協働のより強力な推進を強調。

教育を世界、各国の優先的アジェンダへ引き上げることの必要性、仁川宣言に即した教育への公共支出の重要性を確認。

II. 教えや学びの改善・向上策

- **教育における多様性の尊重**: 困難な状況にいる子供がさらされている排他や疎外、格差や不平等の解消。個性や多様性が尊重され、すべての子供等が自らの可能性や長所を最大限活かすことができるような教育環境の実現。
- **女兒・女性のエンパワーメントの促進**: 女性の生涯にわたる教育・職業教育を含めた能力開発の機会の提供・充実。特に教育を通じた理工系(STEM)分野をはじめとする女性の活躍分野の拡大。
- **教育と雇用・社会の接続**: 労働市場が求める資質能力と教育・訓練で育成する資質能力のギャップ解消。汎用的なスキルの習得、キャリア教育・職業教育の促進。教育は社会に開かれたものであり、次世代を担う子供は地域・社会全体で育てていくとの認識を共有する重要性。
- **技術革新に対応した教育**: 情報活用能力の育成を促進。教員の ICT スキル向上の重要性。不利な状況に置かれている学習者への ICT の利活用の奨励。情報の質や情報源を見分けるために必要なメディアや情報に関する能力育成を促進。
- **教職の向上と支援**: 資質能力向上のための職能開発。教師の社会的地位や待遇の向上に向けた取組推進。教員自身の異なる文化の人々と協働することができる力やグローバル化に対応した能力の重要性。異文化・異宗教、異なる言語的背景を持つ児童生徒をグローバルな視点から教育できる教員をG7各国が協働して育成。効果的かつ十分な教員配置の重要性を確認。
- **客観的根拠に基づく教育政策の推進**: 各国間の取組・課題等の共有や行政官・研究者交流の促進に向け、教育効果に関するG7間の情報共有等を促進。

III. 新たな国際協働

- **教育の国際化**: 異なる地域の高等教育圏が開放的で相互に関わりを持つものになるよう努力し、若者の学び合いを促進。初等中等教育段階からの留学に向けた意識付け、国際交流を促進等。
- **持続可能な開発目標(SDGs)**: 実現加速に向けた取組の推進。開発途上国のキャパシティ・ビルディングを支援する国際教育協力の強化。特に、女性・女兒の効果的な学習環境の必要性を認識。

その他

- **イタリア議長による来年のG7教育大臣会合の開催を歓迎。**

別添: G7教育大臣の行動指針

※宣言の具体的な実行に向けたG7教育大臣の行動指針を策定

- 相互理解、文化間の対話等の促進のため、G7内での共通価値に関する優れた教育実践を共有・普及、インターネット上のプラットフォームの活用等を通じた国際的な協働を推進
- 初等中等教育段階からの理工系分野における潜在的なキャリアの意識づけ、高等教育分野における理工系を目指す女性の支援を通じて、理工系分野の人材を育成し、女性の起業を促進
- キャリア教育・職業教育を効果的に展開するため、学校、家庭、地域・社会、企業、経済団体、非営利団体等との具体の連携、対話を推進
- ICTを活用した学びの実践効果の実証研究を推進
- 教員のグローバルな認識等の育成のためのG7各国の連携強化の具体的な方策を検討、教師の社会的地位と処遇の向上に向けたサミットやフォーラム、顕彰などの国際的なイベント開催を検討
- 客観的根拠に基づく教育政策にかかる各国の取組・課題等の情報共有を促進、行政機関、研究機関、大学等のネットワークの構築、相互交流の促進、セミナー・シンポジウム等の開催、将来的には共同研究を推進
- 開発途上国支援として、技術的な職業教育の強化、汎用的スキルの習得支援、民間部門との連携強化。特にジェンダーに配慮した学校施設整備の奨励、女子の質の高い教育へのアクセスが限られた状況に対処